



## 平成 29 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 2 月 10 日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東  
 コード番号 2931 URL <http://www.euglena.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・経営戦略担当 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03 (3454) 4907  
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 2 月 10 日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 29 年 9 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 9 月期第 1 四半期	3,273	39.9	278	800.5	302	301.5	209	89.3
28 年 9 月期第 1 四半期	2,339	101.4	30	△48.2	75	△6.9	110	105.3

(注) 包括利益 29 年 9 月期第 1 四半期 213 百万円 (95.0%) 28 年 9 月期第 1 四半期 109 百万円 (91.1%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 9 月期第 1 四半期	2.53		2.51	
28 年 9 月期第 1 四半期	1.35		1.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 9 月期第 1 四半期	17,179	13,652	79.3
28 年 9 月期	15,526	13,422	86.3

(参考) 自己資本 29 年 9 月期第 1 四半期 13,621 百万円 28 年 9 月期 13,392 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	
29 年 9 月期	—					
29 年 9 月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 29 年 9 月期の連結業績予想 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,000	35.1	820	18.2	1,100	16.5	690	2.5	8.36	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年9月期1Q	83,009,716株	28年9月期	82,627,216株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年9月期1Q	137,901株	28年9月期	137,901株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年9月期1Q	82,695,239株	28年9月期1Q	82,011,956株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）におけるわが国の経済は、企業業績の改善、雇用情勢の改善がみられ景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、英国のEU離脱問題や米国の政策転換の影響などにより、依然として先行きが不透明な状況です。

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、参入企業の増加により企業間の競争は厳しさを増しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、「ユーグレナ」を利用したバイオ燃料の開発、「ユーグレナ」の食品としての新機能性解明、低コスト化へ向けた「ユーグレナ」自体の改良技術に関する研究開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、主にOEM商品の販売が順調に推移し、売上高は3,273,006千円（前年同期比39.9%増）、営業利益は278,294千円（同800.5%増）、経常利益は302,338千円（同301.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は209,434千円（同89.3%増）となりました。

なお、前第1四半期連結会計期間から当第1四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

	前第1四半期 連結会計期間	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間
売上高（千円）	2,339,780	2,890,227	2,951,940	2,921,281	3,273,006
営業損益（千円）	30,904	423,381	351,565	△111,896	278,294
経常損益（千円）	75,309	467,918	476,448	△75,169	302,338

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業の食品分野においては、主にOEM商品の販売が順調に推移いたしました。また、自社製品の定期購入顧客拡大のための販売体制を強化するとともに、グループ会社間で物流センターやコールセンターを共有するなど、販売コストの削減に努めました。さらに、当第1四半期連結会計期間において、顧客基盤の拡大と、クロレラ製品の製造委託や統合によるコスト削減等を目的として、クロレラ製造販売会社である株式会社クロレラサプライを完全子会社化しております。

ヘルスケア事業の化粧品分野においては、自社のスキンケア化粧品ブランド「one」の販売が好調であることから、同ブランドの販売体制を強化しております。

ヘルスケア事業の海外展開においては中国上海市の上海悠緑那生物科技有限公司において、中国市場における「ユーグレナ」食品市場の創設に向けて主にOEM供給を中心に取引先の拡大に努めました。

ヘルスケア事業の研究開発においては、ユーグレナの食品としての機能の解明を進めております。また、ユーグレナの特有の成分であるパラミロンを継続摂取することにより、肝硬変や肝臓がんの発症につながる恐れがある非アルコール性脂肪性肝炎による肝臓の線維化を抑制することを示唆する研究成果を公表しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、連結売上高3,273,006千円（前年同期比39.9%増）、セグメント利益は539,038千円（同100.9%増）となりました。

## (エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット燃料開発を中心に研究開発活動を継続しており、内閣府の「革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）」における研究開発プログラム「セレンディピティの計画的創出による新価値創造」、国土交通省の「下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）」の委託事業に係る研究開発を行っております。

当第1四半期累計期間においては、経済産業省資源エネルギー庁の「微細藻類燃料生産実証事業費補助金」を活用し、燃料用微細藻類培養プールを多気クリスタルタウン（三重県多気郡多気町）に建設し、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を開始しました。また、ユーグレナの飼料利用の事業化に向けて、家畜を対象とした食用ユーグレナの安全性試験を実施し、食用ユーグレナの飼料利用に関する届出を完了しました。

以上の結果、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、セグメント損失は83,348千円（前年同四半期はセグメント損失46,640千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は17,179,237千円となり、前連結会計年度末と比較して1,653,232千円の増加となりました。これは主に、新規連結子会社の株式会社クロレラサプライの資産の受入及びのれん255,760千円の計上によるものであります。

負債は、借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末から1,422,965千円増加し、3,526,241千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から230,267千円増加し、13,652,996千円となりました。この結果、自己資本比率は79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益ともに計画通りに進捗しております。

平成28年11月9日「平成28年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社クロレラサプライを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,799,181	6,721,590
受取手形及び売掛金	1,059,042	1,346,975
有価証券	2,404,967	2,403,667
商品及び製品	577,447	691,365
仕掛品	5,462	41,798
原材料及び貯蔵品	268,867	380,217
繰延税金資産	119,929	114,710
その他	123,420	173,704
貸倒引当金	△3,415	△4,735
流動資産合計	11,354,902	11,869,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	877,061	1,257,092
機械装置及び運搬具	362,061	799,496
工具、器具及び備品	186,352	235,721
土地	929,988	950,388
リース資産	32,455	32,455
建設仮勘定	896,071	1,354,754
減価償却累計額	△811,663	△1,361,798
有形固定資産合計	2,472,327	3,268,109
無形固定資産		
のれん	730,301	965,013
その他	507,321	500,567
無形固定資産合計	1,237,623	1,465,581
投資その他の資産		
投資有価証券	289,342	293,513
差入保証金	72,796	157,179
繰延税金資産	48,973	73,783
その他	50,039	51,775
投資その他の資産合計	461,152	576,252
固定資産合計	4,171,103	5,309,943
資産合計	15,526,005	17,179,237

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	247,521	340,789
短期借入金	12,651	145,635
未払金	983,171	1,072,211
リース債務	4,110	3,800
未払法人税等	233,848	136,437
賞与引当金	17,520	13,200
その他	112,822	129,814
流動負債合計	1,611,645	1,841,888
固定負債		
長期借入金	59,468	1,252,892
リース債務	3,825	3,037
退職給付に係る負債	10,069	9,847
資産除去債務	49,363	49,389
繰延税金負債	368,905	365,617
その他	-	3,569
固定負債合計	491,630	1,684,352
負債合計	2,103,276	3,526,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,862,520	4,870,830
資本剰余金	6,685,910	6,694,220
利益剰余金	2,090,961	2,300,395
自己株式	△231,396	△231,396
株主資本合計	13,407,995	13,634,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△213	739
為替換算調整勘定	△15,608	△13,323
その他の包括利益累計額合計	△15,822	△12,584
新株予約権	15,360	15,360
非支配株主持分	15,196	16,170
純資産合計	13,422,729	13,652,996
負債純資産合計	15,526,005	17,179,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,339,780	3,273,006
売上原価	653,092	816,318
売上総利益	1,686,688	2,456,688
販売費及び一般管理費	1,655,784	2,178,393
営業利益	30,904	278,294
営業外収益		
受取利息	7,544	6,579
助成金収入	13,793	2,245
受取手数料	9,653	7,778
持分法による投資利益	5,094	3,083
その他	8,890	4,949
営業外収益合計	44,976	24,636
営業外費用		
支払利息	570	589
その他	—	2
営業外費用合計	570	591
経常利益	75,309	302,338
税金等調整前四半期純利益	75,309	302,338
法人税、住民税及び事業税	16,850	93,230
法人税等調整額	△52,844	△1,191
法人税等合計	△35,994	92,039
四半期純利益	111,303	210,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	695	865
親会社株主に帰属する四半期純利益	110,608	209,434

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年10月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年10月 1 日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	111,303	210,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	992	953
為替換算調整勘定	△2,738	2,394
その他の包括利益合計	△1,746	3,347
四半期包括利益	109,557	213,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,648	212,672
非支配株主に係る四半期包括利益	△91	974

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,339,700	80	2,339,780	—	2,339,780
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,339,700	80	2,339,780	—	2,339,780
セグメント利益又は損失(△)	268,304	△46,640	221,663	△190,759	30,904

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△190,759千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,273,006	—	3,273,006	—	3,273,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,273,006	—	3,273,006	—	3,273,006
セグメント利益又は損失(△)	539,038	△83,348	455,689	△177,395	278,294

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△177,395千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、株式会社クロレラサプライを平成28年12月1日付で子会社化したしました。当該事象によるのれんの増加額は、255,760千円であります。